

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：遺伝子からみる野生動物 ILAS Seminar :Genetic study of wild animals	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Wildlife Research Center Professor,MURAYAMA MIHO		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Intensive, First semester	Quota (Freshman)	8 (8)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Intensive
Classroom				Language of instruction	Japanese
Keyword	DNA / 動物 / 行動 / 保全				
[Overview and purpose of the course]					
<p>野生動物の行動や生態を知るのに、動物自体を見るのが困難、見かけと違う遺伝的、内分泌的背景がある、など、遺伝子の解析が必要になる場合があります。</p> <p>ホームページhttp://miho-murayama.sakura.ne.jp/でもそれらを紹介しています。</p> <p>本ゼミでは、セミナーや実習を通して、大学院生や研究者から学び、その一端を体験していただきたいと思います。</p>					
[Course objectives]					
<p>実験によるデータ採取、まとめ、発表などの過程を、見学および体験することにより、野生動物の遺伝子研究の具体的なイメージが持てるようになる。将来の進路に向けて、研究に関する知識を養い、選択肢を増やす一助となる。</p>					
[Course schedule and contents)]					
<p>8月6日以降に3日程度、遺伝子解析の研究紹介や体験実習を行う。日程は登録者と相談の上調整する。</p> <p>4-7月の間に、2回程度開催する異分野ゼミ（http://miho-murayama.sakura.ne.jp/info/index.html）などに、1回以上参加する。</p> <p>予定している内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.DNAの抽出 2.鳥類の性判別 3.動物の行動に関連する遺伝子の型判定 4.細胞培養の研究紹介 5.生殖細胞保存の研究紹介 6.イヌワシの保全遺伝の研究紹介 7.野生動物の年齢推定の研究紹介 8.ガーナでの野生動物研究の紹介 9.動物園での保全研究 10.自分で決めたテーマの探求 <p>遺伝子や、野生動物保全に関する本を読み、関連事項についてレポートを作成する。</p> <p>京都市動物園の訪問（6月の土曜日に1日）に参加する。</p>					
Continue to ILASセミナー：遺伝子からみる野生動物(2)					

ILASセミナー：遺伝子からみる野生動物(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点およびレポート。詳しくは授業中に説明する。

[Textbooks]

野生動物研究センター編『野生動物』（京都通信社）

[References, etc.]

（References, etc.）

村山美穂 他 編著『遺伝子の窓から見た動物たち』（京都大学学術出版会）

[Study outside of class (preparation and review)]

動物や遺伝子に関する専門用語を調べ、授業時の質問を考える。関連する内容のセミナーなどを逐次紹介するので、積極的に参加する。

[Other information (office hours, etc.)]

遺伝子に関する本（上記参考書など）を、1冊は読んでおくこと。

なお、「学生教育研究災害傷害保険」等の傷害保険に加入しておくこと。

「野生動物学入門」も受講すると理解が深まります。

公開セミナーやシンポジウムなど内容理解に役立つ機会の情報も、授業期間中に随時お知らせします。

体験実習の実施日が採点報告日（前期8月中旬頃）以降となる場合は、成績発表が遅れることがある。